

子育て・介護と仕事を両立 密なコミュニケーションで働きやすく。



(株)市民調剤薬局

代表取締役
薬剤師 向井 勉 さん

こんな取組を
推進しています!

1

育児休業は 子が3歳まで

さらに育児時短勤務は小学校3年生
終了時まで利用が可能

2

育児サポート休暇 の付与

育児目的の休暇を付与し、
子育てをサポート

3

ハッピーワーク委員会

会社から独立した組織で社員の
ストレスフリーを目指す

改めて「私たちはイクメン応援宣言企業です!」と宣言するまでもなく、当社は以前から独自の行動計画に基づいた育児支援、介護支援などに取り組んできました。計画の目標は「仕事と家庭を両立させるための環境整備」。男性社員の育休も奨励しています。

育児休業は子どもが3歳になるまで取得でき、時短勤務は小学3年生まで。配偶者出産休暇、育児サポート休暇も他社に先駆けて創設しています。育児サポート休暇とは、子どもが1歳を迎える前日まで利用できる3日間の休暇です。週末や2日以上の有給休暇と合わせて1週間以上の休暇を取ってもらえるので、子育て世代の社員に喜ばれています。

子育ては、子どもが成長するまでのほんの限られた期間しかありません。私自身は3人の子の親ですが、2人目と3人目が生まれた時は立ち会いました。両親が関わってこそ、社会の大切な宝が育つのだと思います。男性社員の育休は、ここ5年では全員が取得しています。

一方、有給休暇の取得率は昨年が94%、今年度は83%となっています。患者さんに迷惑をかけなければ、自由に休めるのが理想。取得日数に関しては上司が管理し、積極的に取得してもらっています。

医療に携わる企業として重視しているのが、社員のメンタルヘルスです。当社では「ハッピーワーク委員会」を設置し、メンタルヘルス研修会や動機付け面接法などを行い、またハラスメント研修も積極的に行っています。また、自殺予防のゲートキーパーとして、患者さんや地域の皆さんの健康的な生活に寄与しています。

薬剤師という仕事を理解していただくため、高校生を対象とした職業体験も行っています。このイベントは社員同士のコミュニケーションの場でもあり、企画から準備、設営まで力を合わせて開催しています。先回は2会場に50人の参加がありました。今後も高校生との接点を多くし、薬剤師を目指す高校生が1人でも増えるよう働きかけていきたいと思っています。

社長に「育休をとっていいですか?」 と聞いたら怒られました(笑)。

イクメン社員
塚原 豪 さん(36歳)

2人の息子がいます。上の子の時は育児休業は取得せず、育児サポート休暇と合わせて1週間の休みを取りました。初めての寝返りを妻と一緒に見ることができ、成長を実感しました。

下の子の時は「育児休業を取ってもいいですか?」と社長に話したら「当たり前だ。休みますの宣言だけでいい」と怒り気味に言われたことを覚えています。妻が生まれたばかりの下の子に専念できるように、家事のすべてと上の子の世話をしました。

育休は仕事よりきつかったですね。1カ月はあっという間に終わってしまいました。夫婦で子どもを育てる真の意味がわかったことと、上の子のお兄ちゃんとしての成長を見ることができたのが収穫でした。イクメンには妻が主役で夫は手伝いというイメージがあります。そうではなく、妻と夫と一緒に育てるのがイクメンではないでしょうか。

子どもたちは5歳と3歳になりました。昔好きだった昆虫採集を一緒にやるなど、子どもたちと遊ぶ週末が楽しみです。



株式会社 市民調剤薬局

●所在地:新潟市 ●業種:医療・福祉 ●社員:64人

【業務内容】医薬品を通じ地域住民の健康と生活の向上に貢献する調剤薬局。新潟市・聖籠町の9店舗で「医療安全」に取り組む。またチーム医療の一員として居宅療養管理指導にも力を入れている。



私たちはイクメン応援宣言企業です!

新潟県では、男性労働者が育児に参加しやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を「イクメン応援宣言企業」として登録しています。

もっと詳しく知りたい方は

にいがたイクメン応援宣言

<https://niigata-ikumen.jp>